

舞台芸術として日本屈指の長い歴史を持つ歌舞伎は、興味深く多面的な舞踊劇であり、その起源は16世紀から17世紀の時代にまで遡ります。現在の男性中心の形式を見ると信じがたいことですが、歌舞伎は元々、女性役者が始めました。しかし、17世紀初頭、挑発的すぎるとして禁止されました。現在では女性役も男性が演じます。

歌舞伎はいくつかの点で他の日本演劇とは違います。その中でも最も顕著なのは、主要人物が顔全体に隈取として知られる独特の化粧を施し、凝った衣装を身につけることです。これらにより、スタイルを確立して誇張された動きを伴いながら、身体表現の演劇である印象を作り出します。歌舞伎の演目は伝統的な文書や文学に基づいています。昔の支配階級である侍の栄光で観客を楽しませる話もあれば、人々の日常生活に根ざした話もあります。

銀座の歌舞伎座は、東京の歌舞伎のアイコン的存在です。プログラムを時折変更しながら、毎月公演を行っています。それだけでなく、ユネスコにも登録された歌舞伎について学ぶことができるインタラクティブな展示スペースも設けています。歌舞伎関連のお土産を購入できる地下二階にあるお土産売り場もお見逃しなく。